

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公民館の「地域づくりの拠点」としての機能を高めるほか、市民の生涯学習内容の充実を図る
対象 ※誰、何に対して	別府公民館、尾上公民館以外の市立公民館10館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	職員の資質向上や、事業の積極的な情報発信を行う。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		8,560千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	425千円
	一般財源	8,135千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	010 公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	7,516千円	6,918千円	8,560千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	研修への参加により、職員の資質向上は図られている。また、定期的な公民館だよりの発行をはじめとした情報発信も行えた。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	265,524	263,954	262,647

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
研修等参加数	回	44	36	42
活動指標分析結果	今後も機会を逃さず、計画的に資質向上を行っていく必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	840,473	798,777	691,700	令和2年度	755,000
成果指標分析結果	令和2年3月より貸館が中止となったため、利用者が減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	20,899千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,488千円
	一般財源	19,411千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	010 公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	20,586千円	20,171千円	20,899千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	265,524	263,954	262,647

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	日	343	341	338
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	102,470	101,310	83,233	令和2年度	91,000
成果指標分析結果	令和2年3月より貸館を中止したため、利用者が減少した。また、事業等の見直しにより各利用区分において減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	別府地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	別府公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	22,472千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,068千円
	一般財源	20,404千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	010 公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	22,327千円	21,601千円	22,472千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	265,524	263,954	262,647

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	日	343	341	338
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	96,268	88,913	77,599	令和2年度	85,000
成果指標分析結果	令和2年3月より貸館が中止となったため、利用者が減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市社会教育委員条例、加古川市社会教育推進員設置に関する条例

【事業概要】

現状と課題	核家族化の進行に伴い、家庭の教育力の低下や、コミュニティの希薄化による地域の教育力の低下が指摘されており、学校、家庭、地域の連携による教育が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	・社会教育委員会議を通して、社会教育の振興を図る。・社会教育に携わる指導者や地域のリーダーを養成するとともに、その資質や能力の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	社会教育委員、社会教育推進員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	・社会教育委員会議の開催・社会教育推進員の設置、研修によるリーダー養成

【コスト】

		令和元年度（決算見込）
事業費合計		12,852 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	12,852 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	01 社会教育総務費
細目	005 社会教育委員、推進員設置事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	12,841 千円	12,762 千円	12,852 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域づくり、生涯学習の推進には、今後も社会教育委員、社会教育推進員による地域に根ざした活動が不可欠である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市社会教育委員数	人	14	14	14
社会教育推進員数	人	392	393	389

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育委員会議開催回数	回	6	5	6
社会教育推進員研修会開催回数	回	5	5	5
活動指標分析結果	社会教育委員会議においては、年間6回開催し、社会教育行政について意見をいただいている。社会教育推進員研修会は、全推進員を対象に年2回、エリア代表者を対象に2回、小学校区代表者を対象に1回開催し、推進員としての資質向上を図る。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
社会教育委員会議参加率	%	83.3	75.7	76	令和2年度	90
社会教育推進員研修会参加率	%	70.2	70.7	76.1	令和2年度	75
成果指標分析結果	推進員の研修会参加率は76.1%と昨年度より5.4ポイント増となった。引き続き参加啓発が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	民法、国民の祝日に関する法律

【事業概要】

現状と課題	平成12年度より実施していた同窓会事業に、平成24年度より社会貢献事業を新たに加えて記念事業とし、各中学校単位で新成人自らが企画・運営している。参加率が低く、今後の事業展開について検討が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新成人を祝うとともに、社会人としての自覚を促す。
対象 ※誰、何に対して	当該年度中に20歳に到達する者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	成人式記念式典を実施するとともに、新成人自らが各中学校単位で成人式記念事業を企画・運営する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	2,175千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,175千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	01 社会教育総務費
細目	010 生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	2,068千円	2,270千円	2,175千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業全体にわたり新成人の参画による運営をしており、社会人への自立と自覚を促す事業として概ね良好な結果を得ている。今後は新成人がさらに主体的に地域に貢献できる事業を企画することが課題である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
当該年度20歳到達者数	人	2,904	2,978	2,845

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成人式記念式典参加者数	人	1,800	1,800	1,900
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者数	人	63	65	68
成人式記念事業(同窓会事業)参加者数	人	1,813	1,953	1,807
活動指標分析結果	記念式典及び同窓会事業は約6割の参加率となっており、概ね良好な参加率となっているが、社会貢献事業は1割以下の参加率であり、参加率を伸ばす工夫が必要である。他市の状況を参考に、今後の事業展開について検討が必要である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
成人式記念式典参加者満足度	%	93	93	95	令和2年度	95
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者満足度	%	100	97	89	令和2年度	100
成人式記念事業(同窓会事業)参加者満足度	%	96	97	97	令和2年度	97
成果指標分析結果	目標値は概ね満たしているが、今後さらに満足度の高い事業となるよう、工夫が必要である。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。また、学習の成果を地域活動につなげることが十分ではない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の生きがいの創造及び地域における高齢者のボランティア活動などへの参加促進を図る。・高齢者の学習意欲の高揚及び地域活動の機会の提供
対象 ※誰、何に対して	市内の高齢者（60歳以上）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	高齢者大学及びOB会の自主的な運営の支援・学習の成果を地域に還元できるものを重点とした講座等の開催

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	1,479千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,479千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	060 生涯学習事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	1,727千円	1,734千円	1,479千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	趣味や教養を高めるための知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を活用することを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
60歳以上の人口(4月住民基本台帳)	人	85,997	86,506	87,229

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座開催回数	回	266	257	254
活動指標分析結果	高齢者の学習を支援することに加え、学習成果をボランティア活動や地域づくりに活かせるような内容の講座を開催していく。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
高齢者大学学生数	人	1,238	1,215	1,106	令和2年度	1,200
成果指標分析結果	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	障がい児（者）家庭教育学級事業	部局名	教育指導部
		課（室）名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	インクルーシブ教育の理念が浸透する中、障がい児（者）をもつ親の家庭教育に対する課題を解決するとともに、障がい者問題に対する理解を広めることが求められている。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	障がい児（者）をもつ親が当面している家庭教育の課題を、相互学習や情報交換により解決を図る。また、交流学習や市民との交歓活動をとおして障がい者問題に対する正しい理解の啓発を図る。
対象 ※誰、何に対して	障がい児（者）をもつ親、または障がい児（者）教育に関心を持つもの
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	障がい児（者）家庭教育学級事業を委託し、家庭教育についての学習、交流啓発の実践を行う。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	1,394 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,394 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	01 社会教育総務費
細目	010 生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	1,382 千円	1,398 千円	1,394 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	障がい児（者）を持つ親が共に学び、問題を共有する場として、有効である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	障がい児（者）家庭教育学級事業	部局名	教育指導部
		課（室）名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
障がい児（者）家庭教育学級生数	人	429	389	357

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
家庭教育事業平均学習時間（1学級あたり・年間）	時間	22	23	24
交流啓発事業平均学習時間（1学級あたり・年間）	時間	11	10	7
活動指標分析結果	ほとんどの学級では、規定の学習時間を大きく超えており、各家庭教育学級は活発に活動している。ただし、平成28年度より委託料の減額に伴い、各々の規定時間を減らしている。（家庭教育事業：15時間→13時間、交流啓発事業：5時間→4時間）			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
障がい児（者）家庭教育学級満足度	%	97.4	100	100	令和2年度	100
成果指標分析結果	事業に対する満足度は非常に高い。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	学習を活かした自己実現とともに、学習の成果を活かすための取り組みの必要性が増加。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	参加者自らの教養を高める
対象 ※誰、何に対して	生涯学習に関心をもつ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の生涯学習の拠点、また社会教育施設としての目的に則した講座等の開催

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	4,422千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,754千円
	一般財源	668千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	060 生涯学習事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	4,595千円	4,685千円	4,422千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民が自発的意思にもとづき、自己に最適な手段・手法を選んで生涯を通じて行う生涯学習を支援する施策として、様々なニーズに応じた講座等を行う中核的な場としての公民館機能を果たしている。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	265,524	263,954	262,647

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座開催回数	回	1,111	1,185	1,135
活動指標分析結果	受講者の学習ニーズが多様化し、学習内容が画一的なものでは不十分になってきた。開催回数はもとより内容も重要視される傾向が強くなってきた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	15,129	17,473	16,067	令和2年度	18,000
成果指標分析結果	講座の見直しにより、参加者数が減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域子育て創生事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域コミュニティの希薄化や核家族化が進むなか、子育てに悩む親が増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	子育てについての悩みや、子育てについて学ぶことにより、安心して子育てができるよう地域で応援していく。
対象 ※誰、何に対して	子どもや子育て中の市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域で子育てを支援することを目的に、ボランティアなどの協力のもと、公民館に幼児等の子育て世代の親子が集い、様々な体験学習の場を提供している。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	102千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	102千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	055 地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	198千円	143千円	102千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域における子育て支援体制の強化・地域教育力の向上を図るために有効な事業であるが、今後さらに事業規模の拡大を図ることが有効であると思われる。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域子育て創生事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
中学生以下の子どもがいる世帯人数	人	0	84,939	85,226

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座開催回数	回	527	540	444
活動指標分析結果	講座内容の見直し及び令和2年3月より主催事業を中止したことにより開催回数が減少した。今後も子どもや親子を対象に、高齢者大学生や地域住民の協力を得て、さまざまな体験学習の機会を提供していく。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	13,174	12,865	6,729	令和2年度	9,600
成果指標分析結果	講座内容の見直し及び令和2年3月より主催事業を中止したことにより、参加者数が減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域人材育成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	地域コミュニティの希薄化が進むなか、地域の人々、友人、世代を超えた人々との間の「顔の見える」助け合いにより行われる「互助」の必要性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティ活動を活発化のための様々なリーダーの養成を図る。
対象 ※誰、何に対して	目的をもって既に活動している公民館内の登録団体会員・社会教育推進員・少年団指導者・新たな活動のリーダーを担う者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業目的を達成するために効果が得られる講座。地域課題の解決、より良い地域づくりをするための具体的な学習及び活動(登録団体、社会教育推進員、少年団等を対象とした学習会等の実施)

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	178千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	178千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	06 公民館費
細目	055 地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	330千円	279千円	178千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後は、知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を次のリーダーに引継ぐことを視野に置いた、学びの好循環を構築することが必要である。地域リーダーの資質向上にも寄与している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地域人材育成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	265,524	263,954	262,647

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座開催回数	回	112	105	53
活動指標分析結果	講座内容の見直し及び令和2年3月より主催事業を中止したことにより開催回数が減少した。今後もボランティア養成講座など地域で活躍できるリーダーを養成する機会を提供していく。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	2,562	2,234	1,356	令和2年度	1,800
成果指標分析結果	講座の見直し及び令和2年3月より主催事業を中止したことにより参加者数が減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法

【事業概要】

現状と課題	市民の学習要求の高まりや社会状況の変化によって、市民の図書館に求める要求が多様化しつつある。地域の情報センターとして応えていくために、サービスの充実に努める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市の図書館が図書館法に則した活動を行い、社会教育施設としての機能を果たすことができるように、図書館全般の活動を支える。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	図書館を快適かつ効率よく利用できるように環境整備を行う。また、図書館業務全体のサービス向上を図る。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	23,553千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	97千円
	一般財源	23,456千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	10 図書館費
細目	005 図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	23,239千円	23,528千円	23,553千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	図書館を十分に機能させるために、職員の職能向上のための研修、システムの運用、必要物品の購入など図書館活動のための基本的な事業を確実に維持継続していくことにより市民の生涯学習環境を充実させる必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全市民人口	人	263,954	262,647	261,324

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	日	324	324	325
活動指標分析結果	開館日数は、休館日と年末年始を除く毎日			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
年間貸出人数	人	254,109	246,679	228,667	令和2年度	260,000
成果指標分析結果	①年間貸出人数は減少している。児童数の減少が要因の一つであるが、窓口対応の向上、多様な蔵書、効果的な資料展示や集会行事など、魅力と居心地の良さを持つ図書館を工夫していかななくてはならない。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法

【事業概要】

現状と課題	利用者の読書要求は多様であり、資料の選定には的確さが求められる。また、障がい者等の来館困難者など、利用者の状況に応じたサービスが必要である。貸出、レファレンス、集会行事を柱にしつつも、効果的な実施のために手段、手法において工夫や課題は残されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	資料や情報を提供することを通じて、社会教育施設としての役割を果たし、併せて地域の情報センターとして文化力の向上と生涯学習環境の整備を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	利用者の多様な読書及び情報ニーズに即応できるように的確な資料収集と提供に努め、レファレンスサービス、各種事業及び集会行事の実施により情報支援と読書啓発を図る。子どもの読書環境整備については、第2次「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取組を継続する。また、障がい者等来館困難な人へのサービスについても検討していく。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	34,043千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	34,043千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	10 図書館費
細目	005 図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	34,205千円	33,643千円	34,043千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	資料の収集及び提供、レファレンスなどの情報サービス、集会行事などによって、地域の読書環境の充実や生涯学習の推進について一定の効果をあげている。しかしながら、多様化する市民の読書ニーズに十分に対応できていない点や来館できる健常者以外には必要なサービスができていない点もある。今後は現行事業を継続し、質的向上を図っていく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全市民人口	人	263,954	262,647	261,324

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
蔵書数	冊	496,022	495,711	492,922
レファレンス件数	回	2,093	1,988	2,276
集会行事開催数	回	201	170	207
活動指標分析結果	前年度比で、①蔵書数は減少したが、②レファレンス件数については増加した。③集会行事開催数は増やすことができた。引き続き内容等を工夫して実施していく必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
年間図書貸出冊数	冊	775,042	807,191	796,493	令和2年度	850,000
年間貸出人数	人	254,109	246,679	228,667	令和2年度	260,000
集会行事の参加者数	人	4,592	3,281	3,922	令和2年度	4,000
成果指標分析結果	前年度比で、①年間図書貸出冊数は若干減少し、②貸出人数は減少した。児童数の減少が要因の一つであるが、窓口対応の向上、多様な蔵書、効果的な資料の展示や集会行事など、魅力と居心地のよさを持つ図書館を工夫していかなくてはならない。③集会行事の参加者数は増加したが、定員設定や天候で左右されることもある。					